



上北谷 笑楽好 だより No.3

# チャレンジ通信

令和4年5月31日

～感染予防対策に、引き続きご協力をお願いします～

## みんなが楽しんだ運動会

校長 藤ノ木 昌史

5月21日(土)、小雨が当たる中でしたが、無事運動会を行うことができました。

「感染予防対策をしながらも、より多くのご家族、地域の皆様に子どもたちのがんばる姿を見ていただきたい」と願い、今年度、会場の配置を変えてみました。児童応援席と本部席の位置を入れ替え、道路側の広いスペースを参観席にしました。

これは、「team上北(地域学校協働本部)」の会合で、メンバーの方から「家族も地域の方も、運動会を見たいって言うているんですよ。会場の配置を変えたら人をもっと入れられませんか。」とアイデアをいただき、実行したものです。

土曜日に予定どおり開催できたこともあり、昨年の倍以上の方が参観してくださいました。子どもたちと交わることなく、十分な距離を取りながら応援をいただきました。ご家庭、地域の皆様の、子どもたちや学校への温かい思いを強く感じました。



さて、運動会の種目は、どの子にも活躍や喜びがあるようにと、担当職員がアイデアを出し、楽しい競技を作りました。1・2年生の「おにごっこ玉入れ」、3・4年生の「大玉リレー」、5・6年生の「棒・タイヤ取り」、全校の「チャンスレース」。競技をしている子どもたちも楽しく、見ている側も楽しくなる工夫がいっぱいでした。今年は、本番まで天候に恵まれ、競技練習がたくさんでき、たっぷりと競技の楽しさを味わうことができました。やる度に結果が変わる要素も、一層競技を楽しくしていたようです。

運動会を通した子どもたちの成長も素晴らしかったです。赤白応援団長を中心に、一致団結した応援団の態度や動き。役割を担い、責任を果たそうとがんばっていた姿。きびきびとした集団の動きを頑張ろうとする姿。勝敗をかけ全力を尽くす態度。準備を始めてから約1ヶ月間の成長ぶりを見ていて、これもまた楽しかったです。

子どもたち、職員、家族や地域の皆様、それぞれの思いが重なり合い、素敵な運動会を創ることができました。

ウィズ・コロナの生活はまだまだ続くはずです。その中で、子どもたちに価値あることは何かを考え、教育活動を進めます。ご家族、地域の皆様からも教育活動についてお気づきのこと、活動のアイデアをお寄せいただければ、ありがたいと思います。

# 5月の行事 アルバム

## 5月9日(月) 避難訓練 & 引き渡し訓練



張戸防犯組合長様、内藤駐在所員様にお越しいただき、不審者対応の避難訓練を行いました。その後、引き渡し訓練を行い、引き渡し手順を確認しました。ご協力ありがとうございました。

## 5月11日(水) 全校田植え



全校児童で行うことが上北谷小学校の米作りの特色です。すっかり慣れた6年生が1年生に教え、低学年をサポートし、伝統をつなぎます。みんなで収穫の日を楽しみにします。

## 5月21日(土) 運動会



開会式、よさこいソーラン、応援合戦、全校リレー、28人が全力で頑張りました。

## 5月27日～チャレンジタイム



スポーツテストでよい記録が出せるよう、縦割りの班で練習。励まし合ったり、アドバイス合ったりして記録向上を目指します。

6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間。 学校だけでなく、広く県民運動として取り組みが進みます。